



縄文



ナチュの森で 縄文 であう展



1万年以上
続いたのが
スゴイ？

北海道の縄文って
ナゾがたくさん！

虫歯がないのは
なぜ？

弥生文化が
なかったって
ホント？



2024

その先へ

?と!とQで北の縄文とつながろう

2021年、北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産に登録されました。

北海道の縄文は、日本の中でも特有な文化があったそうです。

いったいどんな暮らしをして、なにを考え、どんなことを大切にしていたのか？

はるか昔に想いをめぐらせ、縄文⇄現代⇄未来へとタイムトリップしてみましょう。

2024 **3.15** **FRI** - **9.30** **MON**

入場料
無料

場所 **ナチュの森** (北海道白老郡白老町字虎杖浜 393-12) [natural science](#)

時間 **10:00-16:00** 定休日 **水・木** (祝日は営業) ※休日カレンダーをご覧ください

詳しくはHPで!



主催 | (株)ナチュラルサイエンス | 共催 | 白老町 白老町教育委員会 登別市教育委員会

後援 | 北海道 北海道教育委員会 北海道胆振総合振興局 北海道教育庁胆振教育局 苫小牧市 苫小牧市教育委員会
登別市 伊達市教育委員会 洞爺湖町教育委員会 北の縄文道民会議

協力 | 函館市教育委員会 千歳市教育委員会 恵庭市教育委員会 公益財団法人北海道埋蔵文化財センター 北海道中央バス(株)
(株)誠文堂新光社『知られざる縄文ライフ』(響田亜紀子・著/武藤康弘・監修/スソアキコ・イラスト)

気になる! 知りたくなる!

北の縄文のこと。

1万年以上の長い時をつないできた縄文人。豊かな自然、食物、水のあるところを選んで、仲間と助け合って暮らす能力にたけていたみたいです。「ナチュの森」も自然や湧水が豊かなところで、縄文人が好んで村をつくりそう。展覧会を開くことになったきっかけもそんな親近感からでした。土器や土偶だけじゃない縄文時代を知る欠片を、少しだけでも発見（ハックツ!）してほしい。新しい興味関心とか、おどろきや空想とか。?や!がたくさん湧き出すきっかけや、好奇心の交流の場がうまれる予感でワクワクしています。

好奇心とワクワクがわいてくる「ナチュの森」へようこそ!
時空を超えて縄文とつながり、発想を広げていこう

ギャラリー

北海道の縄文の宝が集結!
『はじめての縄文』をわかりやすく

北海道でみつかった貴重な縄文の道具や資料を公開。
「北の縄文」の特徴をたのしく知ることができる展示スペースです。

- 縄文の基本がわかる
 - 北の縄文の特徴って?
 - 縄文人のくらし
 - 各種体験コーナー
 - 縄文人と考えよう
- など、盛りだくさんの企画です。



ライブラリー

もっと知りたくなったら
本と出合えるコーナーへGO!



展示を見て、知りたいことが出てきたら、ライブラリーへ。
気になる本をゆったりしたスペースで読み放題。オススメ本も紹介しています。

ガーデン&カフェ

自然あふれる庭でゆったり縄文気分に

のびのび駆けまわったり、遊んだりできる広いガーデン。
青空の下での関連イベントも企画中。カフェでは縄文食やスイーツで縄文気分を味わってください。

イベント・ワークショップ

“創造”と“空想”の体験を!

縄文の香りを考えたり、縄文アートをつくってみたり。縄文時代を空想しながらクリエイティブな体験を。*期間中に、楽しい縄文イベントを企画しています。詳しくはHPをご覧ください。



「ナチュラルサイエンス」と「ナチュの森」は、
“すこやかな肌とあそびごころ”を育みます

赤ちゃんから大人までデリケートな肌をすこやかにするスキンケアアイテムを提供してきたナチュラルサイエンス。北海道のものづくりの拠点「ナチュの森」は、子どもたちのあそび心と創造性をかき立てるワクワクする企画を用意しています。今回の展覧会は、子どもたちだけでなく、大人もいっしょに好奇心が動き出して創造を生み出していくような場になってくれることをめざしています。

また、学校連携、自由研究のヒント、創造力を広げるワークショップなども企画しています。子どもたちの知的好奇心を応援していきます。



場所：北海道白老郡白老町宇杖杖浜 393-12(ナチュの森 内)

- アクセス
- 札幌から車で約 90 分
 - 新千歳空港から車で 60 分 / 電車 45 分
 - 登別温泉から車で 15 分
- ★金・土・日、祝日・祝前日は、登別駅から無料循環バス「ゆたら号」でナチュの森にお越しいただけます・運航表はHPをご確認ください。

お問い合わせ：0144-84-1272

「ナチュの森で縄文にであう展」プロジェクト

主催：(株) ナチュラルサイエンス 監修：菅野修広 (登別市教育委員会 学芸員)
企画・プロデュース：(有) ウルトラ・タマ/atelier Beyond LLC
イラスト：スソアキコ 青山京子